

# 活動紹介

## = 春まつり、準備すすむ！ =

4月29日（日）恒例のきらら浜自然観察公園春まつりが開催されます。平成19年に始まったこのイベントも回を重ねること12回目。きらら浜の春を告げるおまつりとしてすっかり定着した感があります。葦の会でも毎年「どんなまつりにしようか」と、楽しんでもらえるまつりづくりに知恵を絞り、お客さんの笑顔を想像しながら準備に励みます。今年はほかほかの蒸しパンを食べてもらうことにしました。試食会では「ほっこりと美味しいね」「春らしい味だね」と自画自賛しきりでした。皆さんも是非食べにきてください。アサリ貝のつかみどり大会や遊びのコーナーなども準備がすすめられています。



ほっこり美味しい蒸しパン

## = 今日からあなたも仲間♪ ボランティア説明会 =

3月25日（日）にボランティア説明会がありました。毎年春と秋に開かれています。公園を生涯学習の場として自然や生き物について学んでもらおうと毎年春と秋に開かれています。今回は5名の参加者があり、レンジャーの説明を聞きながら公園施設を見学した後、実際にボランティアの活動に触れてもらいました。説明会終了後の茶話会では、永野代表が「一緒に公園の自然を学び楽しみましょう」と呼びかけ、全員がボランティア登録をされ、新しい仲間の誕生となりました。

## = 活動を振り返って =

3月3日公園行事、ヨシ焼きへの参加をもって、葦の会の今年度の計画活動は完了しました。

4月：春まつり、7月：夏休み子ども早朝観察会、10月：ふれあいまつり、12月：クリスマスリースづくり①・②と予定のイベントを無事に終えることができました。また今年度は葦の会創立15周年という節目の年度でした。記念行事として春は、イベント時もしくは団体行動をする場合に着用するTシャツを揃えました。11月に一泊研修旅行を実施し、斐伊川（鳥取県）河口に群れなす水鳥たちに感動したり、米子水鳥公園を訪問して公園ボランティアの方々との交流をするなど有意義な経験もしました。これからも一年一年実績を積み重ねながら活動を続けたいものです。

当面の課題は、会員の高齢化が進みつつあり会員が減少していることです。会の存在とその価値をPRして仲間を増やすことが大切だと痛感しています。